

9月9日は救急の日

あなたは、大切な人を救えますか？

厚生労働省と総務省消防庁は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を『救急の日』、救急の日を含む一週間を『救急医療週間』と定めています。

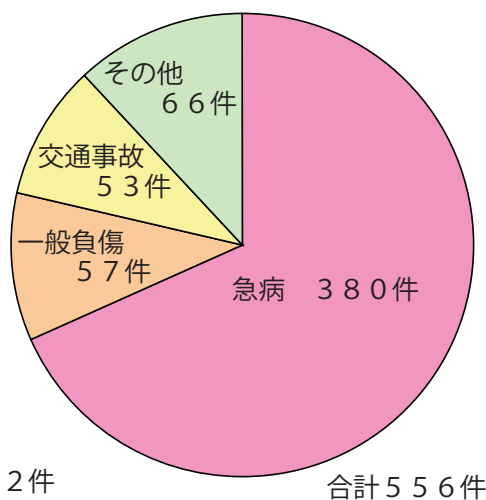
大隅曾於地区消防組合では、この期間に合わせて、9月9日に、大規模な普通救命講習会を開催いたします。

どなたでも参加できますので、皆様もこの期間中は、救急業務に関する理解と応急手当の必要性や重要性を再認識し、もしもの時に尊い命を守ることができるよう応急手当の知識と技術を身につけておきましょう。

大崎救急分駐所救急出場状況

■平成22年度

H22.04~H23.03

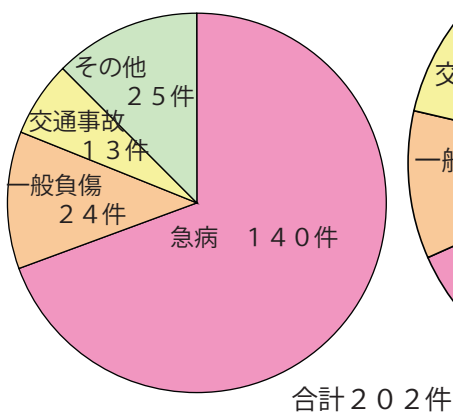


住民の安心・安全確保と命の地域格差を解消するために開所された『大崎救急分駐所』は、今年4月で1年を経過しました。

昨年度中に大崎救急分駐所から救急出場した件数は、556件にのぼります。他の消防署からの応援を合わせると658件となり、町民22人に一人が救急車を呼んだこととなります。分駐所から出場した件数を種別でみると『急病』が380件と最も多く、全体の68%を占め、次いで、『一般負傷』57件、『交通事故』53件の順になっています。

■平成23年度

H23.04~H23.07



落ち着いて119番

大隅曾於地区消防組合によると救急出場件数は年々増加傾向にあり、緊急出場したなかでも年配者に発症が多い心筋梗塞や脳卒中、くも膜下出血などが急増しているそうです。

このような病状の際には、1分1秒を争う場面も多く、通報の際にはできるだけ具体的な情報を、正確に伝えることが必要です。

救急隊から病院へ連絡する際には、傷病者の名前などの基本的な情報のほか、病歴や服用している薬、普段の状況との違いなどを傷病者本人や関係者等からそれらの情報をひとつずつ聴取します。

『いざー!』というとき落ち着いて119番通報ができるように、正しい119番通報のかけ方を知っておきましょう。

【急病やケガのとき】

住所と名前、場所を詳しく

大崎町○○、○○番地、アパート名や世帯主名など詳しく。

現場がわかりにくいときは、サイレンが聞こえたら誘導に出てください。

病気がケガか

急病のときは症状や持病、ケガのときは、ケガの場所、ケガの程度、原因なども伝えましょう。

搬送される人の情報を正確に

搬送される人の年齢や性別、病気やケガの状態、病気がかりつけの病院があるときは、それらの情報も伝えてください。